ブラシなどである。

閑話休題 ③ 音楽

爆風スランプ、マドンナ、サディスティックミカバンド、井上陽水、BOΦWY……聞いたことない？ 実は当日流していた音楽なのだ。なぜか運動会はこういう音楽（ロックやニューミュージック）が多い。演歌は……クラくなる？

田辺健さんらが表彰

お昼、各チームは、「飯食を共にし、一体となった」。全員参加で、といってもビールを飲んでいる人はそれはそれでけっこうなのだが、佐渡おけさや黒埼よいとこなどの民謡を踊っていた。

午前の成績が発表になった。一位は今年こそ優勝をという板井で40点、以下木場37点、金巻34点、黒鳥33点……最下位は鳥原新田15点。得点は各種目の1位が7点で以下2位6点3位5点4位4点5位3点6位2点7位1点と配分される。リレーの決勝は得点にならない。昨年は①木場77点②板井72点③山田71点だった。

また、体育協会の表彰があり、二人一団体に鈴木会長から表彰状が手わたされた。まず、長年協会の理事長を務められた田辺健さん（板井）に「体育功労章」が、全国大会で活躍した体操の佐野友治君（黒埼体操クラブ・小学6年生）と県大会に優勝した黒埼中男子卓球部に「優秀競技者章」が贈られた。今後の一層の活躍を祈ろう。

みんな楽しい運動会

午後は幼児レースで始まった。自由参加である。子供たちがワァーとフィールド内を走っていた。見ていて大変気持ちがよい。次は各種団体長種目別リレー。分館長は輪投げ、婦人会長（または保健委員）はなわとび、衛生委員は玉入れをする。日ごろ地域のためにご苦労されている皆さん、今日も本当にご苦労様である。

その次はカン釣りリレー、その次は自由参加の男子400mリレー、飛び入りの参加者が多い。みんな走りたくなるのだろうか。その次はいよいよ学童リレーの決勝だ。その前にカン釣りまでの得点が発表。トップは依然板井で54点、2点差で木場、三位は黒鳥48点。板井は逃げきれるだろうか…。

各公民館の応援も加熱してきた。ビールの空き缶もどんどん増える。「何が何でも一等賞」という体育会系の人、「楽しくやればいいじゃない」という軟弱路線の人、「まあいいっぺ（一杯）飲めてば」と近寄ってくる人、いろんな人が集まっているからおもしろい。シュッシュッと太ももにスプレーをかけているスポーツマンもいる。旗をふったり、踊ったり。「○△分館の選手の皆さん、大至急集合してください」などというアナウンスが流れてはいたが。

板井小女子が五連覇

応援席が大いに盛り上がっているころ、二時、学童リレーの決勝が始まった。結果を書くと、女子は板井の圧勝である。場内アナウンス「板井分館の素晴らしいバトンタッチで速い、速い」。全く速い。一、二年生は50m、三年生以上は100m、まるで一人で走っているようにバトンが渡され、ランナーはくるくる回る。正確で美しい。感動的ですらある。もっと見ていたいほどだ。

選手インタビュー、五年の生野加小里さんは一年のときから走っている。「ずっと勝っている。今日も走る前から勝つことがわかっていた」。五連覇達成、オメデトウ。

続いて男子。レース直前に選手のお母さんに聞いてみた。「去年は補欠でした。今年は走れたので子どもは喜んでいます。私は心配で心配で、ハラハラしています。今年も一位になれるよう祈りたい気持ちです」。人事を尽くして天命を待つ。待っている間も祈れ、と言ったのは東京オリンピック女子バレーボールの大松博文監督だったか。

スポーツに勝敗はつきものだ。レースは予想通り、板井と木場の接戦になった。一年生から六年生まで、ほとんど並んでいた。大喚声。先にゴールしたのは、キャア、ワァー、木場。丸山さんの危惧は当たった。やったやったと喜ぶ木場。応援団の戸枝和行さん（36歳）は飛びはねている。「今年は、ね、板井に負けないように、ね。徹底的にバトンを練習した。やりましたヨ」オメデトウ。板井の子供たちは……けっこう元気に応援席に帰って来た。「来年がんばればいい」という声が飛んだ。

男子学童リレー優勝の木場チーム

右から、田辺健さん、佐野友治君
黒埼中男子卓球部。

勝っても負けても笑顔が大事

大会は熟年者ゲートレース、玉入れリレーを順調に消化し、そこまでの得点は、その二種目で一位をとった木場が遂に板井を逆転して66点でトップ。続いて板井と黒鳥が60点。優勝は最後の得点種目、綱引きに持ち込まれたものの、6点差は逆転されず、木場が81点で優勝。2位以下は……上の写真を見てくれ。まあ、勝敗はどうでもいい、というわけではないにしろ、綱引きの後のお父ちゃん、お母ちゃんの笑顔に比べれば、たいしたことはない。「おった（私たち）おしとやからっけ負けたんて」、「体重の差らこて」とか「声ばっか出てるれも、なんで（全然）力出さねんだね」まあ、勝っても負けてもビールはうまい。負けたら少々苦いかな。

さて、フィナーレを飾るのは、年代別リレーの決勝であった。男女とも木場が一位で優勝に花を添えた。オメデトウ。敗者の言葉も少々「あともうちょっとだったんけどな。コーナーを回るとき、抜かせねんだね。いやあ悪かった。オレのために。悪かったて」。

ゴミとらく書き帳…

競技が終わり、テントも片付けた。4時少し前、閉会式が行われた。総合6位までとリレー3位までが発表され表彰されたあと——

岡田幸一審判長講評「決められたルールを守り素晴らしい競技が展開されました。リレーのバトンがうまくなり、手に汗を握りました。一人のけが人もなく大会が終わったことに感謝しています」。

鈴木昭大会会長閉会のことば「楽しかった運動会が無事終わり喜こんでいます。大会のテーマは親睦と融和です。来年も元気でお会いしましょう」。そして、高橋石男大会副委員長が閉会宣言をして、第28回黒埼町町民親善大運動会は終了した。

最後に一言ずつ——優勝した木場の山際新一郎分館長は「今日は木場の野球大会と重なって、人を集めるのに精一杯だった。まさか優勝できるとは、この4年間で3回も優勝している。みんなが頑張っているからだと思う」。

最下位の焼酎団地の高野龍男分館長「来年は頑張ります」

裏方で接待を務めた婦人協議会の五十嵐チエ子会長「もうずっと続けていますからね。大変てことはないですよ。皆さんお疲れ様でした」

場内アナウンス「後始末をよろしくお願いします」。そう頼むまでもなく、ゴミや空き缶、タバコの吸いガラ、すべて持ち帰っていた。ゴミだけでなく、皆さん、若干の疲れと、大会の余韻とともに、参加賞を手に帰路に着いた。参加賞は不滅の運動会の不滅の定番「落書き帳」（学習帳ともいう）であった。

それでは皆さん、来年までさようなら。

参加賞である

♣逆転優勝？を綱引きは勝ちが10点で負けが5点。木場に6点の差をつけられた黒鳥、板井が逆転優勝するためには、男女ともに勝ち、なお木場が男女とも負けた場合だけであった。総合成績が同点の場合はリレーなどの種目一位のある方が優勝することになる。

♣学童リレーの成績（決勝）
女子…①板井②木場③鳥原本村
男子…①木場②板井③黒鳥

♣年代別リレーの成績（決勝）
女子…①木場②板井③北場
男子…①木場②板井③黒鳥

♣総合成績 ①木場81点②黒鳥80点③金巻77点④板井75点⑤立仏70点⑥北場60点⑦寺地60点⑧柳作59点⑨鳥原本村58点⑩蓮方団地57点⑪大野56点⑫鳥原大明54点⑬鳥原新田53点⑭寺地団地⑮鳥原新地52点⑯小平方51点⑰中学通り49点⑱山田48点⑲善久48点⑳川原47点㉑焼酎団地43点

忘れ物、落とし物…届け出があります。